SKJ-K311R

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この商品は、羽根の回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

表示について

※ここに示した「安全上のご注意」は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生することが想定される内容を示します。

表示の例

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)

🛇	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

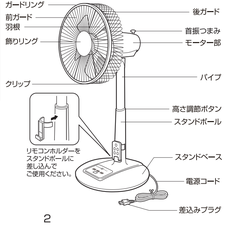
⚠警告

強制	羽根・ガード・スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しないでください。 ●ケガの原因になります。
分解禁止	絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。 ●異常動作してケガや発火の原因になります。
水ぬれ禁止	水につけたり、水等をかけたりしないでください。 ●ショート・感電の恐れがあります。
禁止	コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセント内部にホコリや金属や水分を付着させないでください。 ●感電・ショート・発火の原因になります。
プラグを抜く	お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜いてください。
ぬれた操作禁止	ぬれた手で抜き差ししないでください。 ●不意に作動して、ケガをしたり感電の原因になります。
禁止	電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。 ●電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。
禁止	電源コードや差込みプラグが傷んだり、破損しているときは使用しないでください。 ●感電・ショート・発火の原因になります。
禁止	交流100V以外では使用しないでください ●異常発熱して、火災の原因になります。

⚠注意

禁止	風を長時間、からだにあてないでください。 ●健康を害することがあります。 ●特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
禁止	スプレーをかけないでください。 (殺虫剤、整髪料、掃除用等) また、油や薬品のかかる場所で使用しないでください。 ●樹脂や塗装部分が変質したり、破損の原因になります。
禁止	次の場所では、使用しないでください。 (ガスレンジ等の近の近く、引火性ガスのある所、雨やゆかのかる場所。) ●樹脂や塗装部分が変質したり、破損の原因になります。
プラグを抜く	外出するときなど使用しないときや何か異常があった場合はすみやかに差込みプラグを抜いてください。 ●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。
禁止	製品を倒さないでください。 ●羽根が割れたり、故障や事故の原因になります。
可動部へ接触禁止	ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。 特に持ち運びする際には注意ください。 ●ケガの原因になります。
禁止	障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所で使用しないでください。特に入タイマーの場合にはご注意ください。 ●破損や故障の原因になります。
禁止	扇風機カバーをご使用の場合ホコリ等がつまった状態で使用しないでください。 ●モーター部が加熱し、故障や事故の原因になります。
強制	差込みプラグを抜くときは、電源コードを持ち手に必ず先端の差込みプラグを持ってり引き抜いてください。 ●感電やショートして発火することがあります。
禁止	テレビ、ラジオ、電子機器、赤外線リモコンが受信できる機器などのそばに置かないでください。2m以上あけ、赤外線信号が届かない距離に離してください。 ●赤外線信号の干渉による誤動作や、受信障害などの不具合が発生することがあります。

各部の名称



※製品は、絵と少し違うことがあります。

組み立てかた

●ご使用の前に次の順序で正しく組立ててください。
●袋ケースは、保管する時に必要ですから捨てないでください。
●ガード、羽根を取付けていない状態では、モーター部を右望みの角度(上下)に調節できません。

⚠警告

禁止	組立て前、あるいは組立て中に差込みプラグをコンセントに差込まないでください。 ●モーター軸が回り出し、ケガの原因になります。
禁止	組立て前、あるいは組立て中に「高さ調節ボタン」を操作しないでください。 ●モーター部が飛び出して、ケガの原因になります。

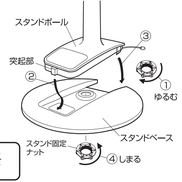
1 スタンドベースとスタンドポールを組み立てます。

① スタンドポールからスタンド固定ナットをはずします。

② 平らな安定した場所に置いたスタンドベースにスタンドポールの「突起部」を差し込みます。

③ スタンドポールをスタンドベースに押し込みます。

④ スタンドベース底部よりスタンド固定ナットで使用中にゆるまないようにしっかりと締め付けてください。



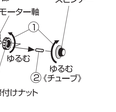
ご注意 スタンドポールをスタンドベースに差込むとき、高さ調節ボタンを押さないように注意してください。

2 モーター部の下記部品をはずします。

① スピンナーとガード締付けナットはモーター部についていますので「ゆるむ」の方向にはずれるまで回してください。

② モーター軸のチューブをはずします。(チューブをはずさないと羽根をつけることができません。)

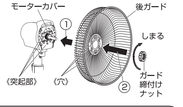
※チューブは扇風機を保管するとき、モーター軸のサビ防止となりますので捨てないでください。



3 後ガードを取付けます。

① モーターカバーの突起部に後ガードの穴を合わせます。

② ガード締付けナットを「しまる」の方向に回して、後ガードが使用中にゆるまないようにしっかり締付けてください。

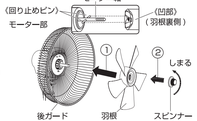


⚠警告 ❗ ガード締付けナットとスピンナーは、使用中にゆるまないようにしっかり締付けてください。
●締付けが不十分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因となります。

4 羽根を取付けます。

① 羽根の凹部とモーター軸の回り止めピンが合うようにして羽根を差込みます。

② スピンナーを左回転「しまる」の方向に回して、羽根が使用中にゆるまないようにしっかり締付けてください。

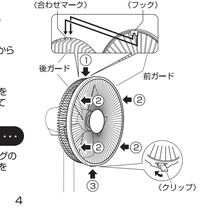


5 前ガードを取付けます。

① 前ガードのフックを後ガードのマークに合わせて掛けます。

② 前ガードの全周を押さえて上から下へ順番に後ガードへ確実にはめ込みます。

③ クリップは前ガードと後ガードをはさみ込むように確実に止めてください。



前ガードをはずすときは・・・

●クリップをはずし、ガードリングの真下を手前に引き、前ガードをはずしてください。

使いかた

■はじめてご使用になる時は、少し臭いが発生することがありますが、ご使用にともない消えます。
■操作は、リモコンと本体操作パネルの両方でできます。
■差込みプラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差込んでください。
■差込みプラグをコンセントに差し込んだ状態では、操作パネルが少し熱くなることがありますが、制御回路に微電流が流れているので、故障ではなく危険もありません。
■差込みプラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください。

禁止 操作パネル部にお茶・ジュース等を絶対にこぼさないでください。
もしこぼした場合はご使用を中止し、お買上げの販売店か当機を受けてからご使用ください。
●事故や故障の原因になります。

リモコン操作上のご注意

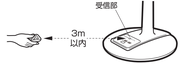
■リモコンの送信部をスタンドの受信部に向けて操作してください。
●受信部以外の方向へ向けると作動しないことがあります。

■リモコンの送信部とスタンドの受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。

■付属の電池は動作確認用です。動作確認後、新しい電池に入れ替えてご使用ください。
■電池が消耗しますと、遠隔操作のできる範囲が狭くなりますので、ご注意ください。
■インバーター式の照明器具の下や、直射日光の下では、リモコンの受信感度が落ち、作動しないことがあります。
■運転中に停電した場合や、差込みプラグが抜けた場合、「切」になりますのではじめから操作し直してください。

リモコン取扱いについてのご注意

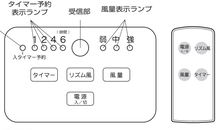
●下図は目安で、お部屋の大きさ、製品の置き場所などで異なります。



●リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などで濡らさないでください。

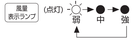
ボタンの使い方

※操作ボタンを押したときに、ブザー音(ピッ)が鳴ります。



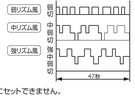
■「電源」ボタン
●電源ボタンを押すと電源が入り、運転状態になります。
●運転中に電源ボタンを押すと表示ランプが消え、すべての運転が停止します。
●運転停止後、差込みプラグを抜かずに再度電源ボタンを押すと、停止前の風量設定で運転をします。
●スタイマー設定中に押すと、スタイマーが解除されます。

■「風量」ボタン



●運転中に風量ボタンを押すと風量が切換わり、風量表示ランプが切換わります。

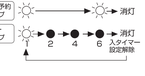
■「リズム風」ボタン　※運転中でないと操作できません。



●リズム風ボタンを押すと風量表示ランプが点滅し、風量がリズミカルに変化するリズム風モードになります。
●風量が「弱リズム風」に入ると弱ランプが点滅します。
同様に「中リズム風」の場合は中ランプが点滅、「強リズム風」の場合は強ランプが点滅します。
●リズム運転中に、もう一度リズム風ボタンを押すと、通常運転に戻ります。
●リズム風は弱のような周期で変化します。

■「タイマー」ボタン　※入タイマーと切タイマーは同時にセットできません。
●1/2/4/6時間の4段階でタイマーをセットすることができます。
●タイマー設定中に、差込みプラグが抜けた場合や停電した場合は「切」になりますので、はじめから操作をやり直してください。

入タイマー ●設定した時間になると、自動的に運転を開始します。

1 運転を停止させた状態にします。
(差込みプラグがコンセントに差込まれているのを確認してください。)
●入タイマーは、運転停止中でないとセットできません。

2 「タイマー」を押して、お望みの時間を設定してください。
●入タイマー予約表示ランプが点灯し、押す度にタイマー設定時間が切換わり、タイマー表示ランプが点灯します。
●時間がたつと、タイマー表示ランプが切換わり、残りの時間を表示します。